

定期試験対策は、「学校教科書での深い理解」と「問題練習での得点アップ」で、
全教科、100点満点を！！

開倫塾
塾長 林明夫

Q：「定期試験」とは何ですか。

- A：(1)多くの学校では、各学期に「中間試験」「期末試験」が行なわれます(中間試験がない学校もあります)。また、学年末には、「学年末試験」が行われます。これらを、「定期試験」「定期テスト」と呼んでいます。
- (2)大学・短期大学・専門学校・専修学校など「高等教育機関」の多くでは、90分の講義15回終了後、各学期(セメスター)の最後に、「単位認定試験」が行われます。これも、「定期試験」です。大学などでは、合格点が取れない場合には、「再履修」や「留年」、留年が重なると、卒業できずに「退学」となります。これは世界共通です。
- (3)このように、中学校・高校だけでなく、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院など、中学校以上の学校で、学期末や学年末に「定期試験」がないところはないといえます。



Q：なぜ、中学校以上の学校では、「定期試験」があるのですか。

- A：(1)その学期、その学年で学んだことをきちんと「理解」し、身に着けているかを「評価」し、次の学年に「進級」、その学校を「卒業」してもらいたいためです。
- (2)授業をきちんと受け、「定期試験」でよい点を取るためにしっかり勉強し、きちんと知識を身に着けて、次の学期、次の学年、次の学校で学んでもらいたいためです。
- (3)学校を卒業した後は、学校で学んだことを、仕事の場で、社会的な活動の場で、家庭生活の場で、最終的には、よく生きるために活用してもらいたいためです。



Q：エッ、学校の勉強は役に立つのですか？

- A：(1)役に立ちます。保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院など、学校で学ぶすべての教科の勉強は、全部、役に立ちます。役に立たないものは、何一つありません。
- (2)次の学期、次の学年、次の学校で、全部、役に立ちます。大学や大学院、仕事や社会的活動、よく生きるために、全部、役に立ちます。一生、役に立ちます。
- (3)ですから、大切なことは、「学校の教科書」「辞書」「地図帳」「年表」「参考書」は、決して処分しないこと。いつでもパツパツと見られるよう、身近に置いておく。一生の宝物として、身近に置いて、活用し続けることです。
- 学校で行っている「教科外の教育活動」もすべて役に立ちます。2024年1月2日の羽田空港での航空機衝突事故で、すべての乗客が乗務員の指示に従い、整然と避難。一人の死傷者も出なかったのは、学校行事や部活動など、学校での集団行動訓練の成果、賜(たまもの)と、高く評価されます。

Q：それではお聞きします。中学校・高校・大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で行われる「定期試験」で、全教科、100点満点を取るには、どうしたらよいですか。その「手順」を具体的に教えてください。

A：(1)一番大切なのは、「授業」です。ですから、まず第一に行うべきは、「授業の予習」です。「予習」とは、「学校の教科書」「教材」を、「一語一句」ゆるがせにしないで、どのような意味か、どのような内容かを、考えながら読み込むことです。「声を出して、ゆっくり読むこと」です。
(2)読んでいて、よく意味がわからない語句があったら、辞書を用いて調べる。辞書で調べたことは、ノートに書き写し、書き取り練習をして、その場で覚える。計算や問題は、全問ノートに解く。問題文は、必ずノートに書き写してから、解く。
(3)予習をして、わからない語句や内容、計算や問題があったら、「印」をつけておき、授業中に、先生の話に注意してお聴きする。「予習」とは、「よくわからないことをはっきりさせて、授業に臨むために行うもの」です。この「予習の目的」を活用すれば、人生は大きく開きます。

Q：予習の次に大切なのは何ですか。

A：授業です。授業中は、先生の口元と目を見て、しっかりお話をお聴きする。大切なことは、すべてメモ、ノートに取る。大切なことをノートに取ることができるのは、「高い能力」です。

Q：授業後は、何をすればよいのですか。

A：「復習」と「定着」「問題練習」の3つです。

(1)「復習」とは、もう一度勉強し直すこと。そして、学んだ内容を「理解」することが復習の目的です。先生の授業を思い出しながら、「教科書」「教材」「授業ノート」を、ゆっくり「声を出して読む」。「学校教科書」「学校問題集」の「計算・問題を、すべてもう一度解き直す」。「ノートを見やすいように整理する(ノート整理)」。

(2)次は、「定着」が大切です。よく「理解」できたことを、身に着けるのが「定着」です。「定着」では、「学校教科書をスミからスミまで全部覚える」ことを目指しましょう。それには、「音読練習(暗唱)」や「書き取り練習」、「計算・問題練習」で、パッパッパと正解が出るまでにすることが役立ちます。

○そして、「深い理解」、つまり、「学んだことを自分のことばで言える(表現・説明できる)」ことを目指しましょう。

(3)仕上げは、「問題練習」です。全教科の「過去問練習」3年分は、絶大な効果を示します。「過去問」がなければ「予想問題練習」です。開倫塾のテキストも「予想問題練習」としてご活用ください。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)この「定期試験で、全教科、100点満点を取る勉強方法」は、開倫塾を創設した45年前からずっと塾生の皆様にお伝えしてきました。この通り勉強しコツをつかんだ人の多くは、短期間でも、学力が飛躍的に上昇。「多様な選択肢のある人生を歩む」に至っています。

(2)ただし、この勉強方法は時間がかかります。できるだけ、早め早めにスタート。1日の勉強時間をたっぷり取ることが求められます。

(3)開倫塾では、全教科の定期試験対策勉強は、1～2か月前からスタート、毎日、夕刻から夜10時30分(東京は10時)まで、開倫塾で自学自習することを、全塾生に奨励しています。どうぞ、開倫塾を最大活用、「この秋から来年3月までの定期試験」で「全教科、100点満点」を目指してください。「If you can dream, you can do it!」「自分の未来は、自分で切り開く」「諦めたらおしまい」「Never give up!」です。

— 2024年9月13日記 —

